



## もしもの場合も考えておきましょう

万が一、緊急事態宣言の期間延長、またはその上位レベルの措置がとられ、会場が使用できなくなった場合にはどうなるの？

天災など会場の責任に帰さない理由で会場が使用できなくなった際には、会場側からお客様に対して解約を申し出ることができる、という条項が設けられている場合があります。法務省のHPでは下記のように提言されています。

「新型コロナウイルス感染症の影響で結婚式等のイベントや旅行をキャンセルした場合にキャンセル料を支払わなければならないかどうかについては、基本的に契約条項のうちキャンセル料に関する条項に基づき決まることとなります。

イベントのキャンセルを検討中の方や、参加予定のイベント等が中止になってしまった方々においては、キャンセル料や支払済みの代金の返金に関する取扱いについて、事業者等に改めて確認することが重要です。」

上記の場合の対応についても、規約に項目があるのか、またその際の対応方法はどのようになるのか、確認しておきましょう。

## 結婚式までの期間をもっと楽しく過ごすために

たくさん悩み、考えたおふたりが、必ず笑顔で結婚式を迎えることができるように、  
今この時間を大切に過ごすために3つのことを心がけましょう。

①

この機会を  
「ふたりの絆を深める時間」  
にしよう。

じっくり話し合い、お互いの気持ちや考えを伝えあう作業は、たくさんの方のエネルギーを必要としますが、お互いを知るためのとても良い機会でもあります。人生とは、長い時間をかけて一枚の絵画を仕上げるようなもの。夫婦生活は、その絵画をふたりで力を合わせて描き進めていくプロジェクトです。結婚式の、その先の人生を見つめて。

今のおふたりがお互いにしっかりと話し合い、価値観や思いを共有しあい、絆を深める時間を過ごすことができますように。

②

どんな時にもお互いを信じて  
「ふたりで出した結論に  
自信を持とう」

これから先の長い結婚生活に、今回のような、またはそれよりももっと大変な出来事が起きるかもしれません。どんな時にも夫婦にとって大切なのは「ふたりで決めて、行動すること、そして覚悟を持つこと」。ふたりで決めたことをしっかりと納得の上で実行することは、夫婦というチームをうまく動かすための秘訣です。

自分たちで決めた結論に自信をもって大丈夫です！そのふたりの決意を、きっとたくさんの方のサポーターが応援してくれるはずですよ。

③

今できる  
「楽しい結婚式準備」  
を見つけよう。

ふたりで準備する過程を写真やムービーに納めて思い出作りにしたり、ゲスト一人一人に宛てて心を込めて丁寧にお手紙を書いたり、ダイエットやボディメイクをしてより美しくドレスを着こなす準備期間にしたり。BGMを考えたり、引出物を選んだり…。少しずつ出来る準備を進めるのもよいでしょう。

お互いを思い、ゲストを思い、自分のこれまでの人生を見つめる「結婚式の準備期間」は、人生の中で限られたかけがえのないひととき。この時間は、駆け抜けるように過ぎてしまうことがほとんどだけれど、今のおふたりはその特別な時を「少し長く楽しむことができるようになった」と思えたらいいなと、そっと願っています。

発起人

 SUEHIRO  
MAIL/info@suehironet.com

 REXIT

監修: WEDDING LAPPLE / REVE&Co. / Coco style WEDDING  
協力: Producer's Wedding / First Film / アズールウェディング / CANOW  
デザイン: Shiori Graphic